システムバンク通信

SYSTEM BANK ADVANCED FACTORY

【第6号】
【編集責任者】システムバンク㈱営業部
【発行責任者】城　克幸
【連絡先】
札幌市中央区北1条東1丁目2－5
電話：011－219－2161

システムモール2008開催

平成20年8月29日（金）、札幌コンベンションセンターにおきまして、「システムモール2008」を開催いたしました。今年は「システムモール」を始めてから、6回目の開催となり、これもひとえにユーザー様のご支援の賜物と社員一同心より感謝しております。今回は、基調講演に北海道ベンチャーキャピタル株式会社松田一敬社長をお迎えし、「今、北海道が面白い」と題しお話を頂きました。また、システム展示会も協力会社様のご協力により行い、当日は大変お忙しい中、100名を越すお客様にご来場いただきました。来年も「システムモール2009（仮称）」の開催を予定しておりますので、是非ご参加いただけるよう、お願い申し上げます。

■基調講演

『今、北海道が面白い』
北海道ベンチャーキャピタル株式会社
代表取締役社長　松田　一敬

基調講演の様子

■システム展示会

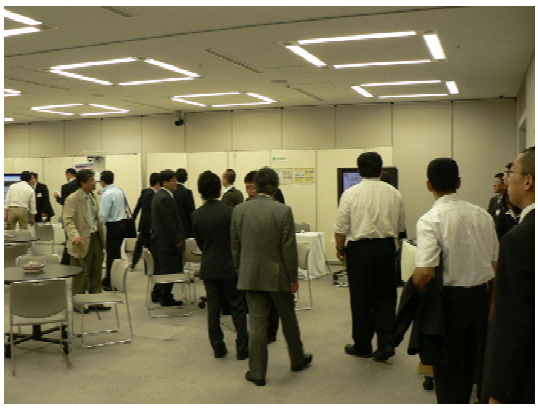
『 道銀コンビニ収納サービス」・料金等払込みサービス「Pay－easy」 』
北海道銀行　ダイレクトバンキングセンター

『 土地台帳システム 』
アートシステム株式会社

『 竹内式らくらくケアプラン 』
株式会社エス・アイ・ユゥ

『 Webカメラ『ＶＢ－Ｃ５０ｉ／ＶＢ－Ｃ５０ｉＲ』 』
キャノンマーケティングジャパン株式会社

『 公営住宅管理システム『住まいるＧＳ』 』
システムバンク株式会社



展示会の様子

■業務システムユーザー会

『公営企業会計システム』

『確定申告支援システム』

『住まいるシリーズ』

ユーザー会の様子

社長コラム（公営住宅法改正について）

平成21年4月よりの法改正施行に向けて、いよいよ忙しい時期を迎えていることと思います。　私たちも、9月初旬の法改正対応システムの一次リリースを終え、これから各自治体の裁量で実施される部分の条件について聞き取りや分析を行い、最後の調整を行い、来年はじめに最終確定版のリリースを行う予定になっています。

12月・1月、各自治体ご担当は、条例・規則の改正を行い、新法に従い家賃算定を行い、認定通知の手配、改正法について住民に対する周知や苦情に対する応対など、ここ数年で一番忙しい季節を迎えることとなりそうです。

10月に北海道庁において、今回の法改正について審議会が行われ、その答申がホームページに掲載されています。 “更なる激変緩和措置”について検討の必要性と措置を講ずるのが妥当であるとの記載が成されていました。　では、道営住宅は“更なる激変緩和”を実施するのかと思い、先日、道庁住宅課へ赴きその旨を問いただしましたところ、“今のところそのつもりは無い”との返事を頂きました。 残念ながら皆さんが思っている指針としての道営住宅での裁量の範囲での緩和措置は行わないような感じでした。 もちろん決定事項ではありませんとのことで、最終的に12月議会での条例改正で決定とのことです。 実施してくれれば参考になったんですがねー。

全ての答えが各事業主体の裁量に任せると言われても、そこそこの指針を示してくれるのが上部団体の役目なのではないでしょうか…。 我々にとっても結構大きな問題で、1月になってからこういう規定になったので規定に沿って家賃計算してくれと、突然言われても対処のしようがありません。

130以上のユーザーを抱える弊社としては影響度合いを調査し、分析・設計・製造・試験・納品・確認と、間違いのないように各工程を踏んで行けば、少なくとも2ヶ月くらいは時間がほしいところです。 したがって、みなさんが、どう対応しようか悩んでいる“更なる激変和緩和措置”について、12月には確実にこんなことで実施するという仕様を決めて、お知らせいただきたいのです。 弊社システムでは“更なる激変緩和”を実施する場合の事由や、緩和措置の考え方、計算方法を特定しています。 もちろん、これが正解というわけではありません。 いろいろな判断がある場合は、あくまでも入居者有利に決定していくという原則（税法上の納税者有利の原則）に基づき計算式を構成しました。 あくまでも答えの一つとして考えてください。 しかし、その範囲であれば既に改定済みなので、あわてることではありませんが、何せ事業主体の裁量に任せられる事項なのでどんなものが出てくるかわかりません。 予想をはるかに超えた要求があると“万事休す！”もあり得るかも知れません。 あまり考えたくもありませんが…。

平成10年から施行された新公営住宅法も、毎年のように改定を繰り返し、現実に現在も改正に伴う経過措置中である事項も続いています。 今回の改正においては、今後少なくとも5年間にわたる経過措置があります。 その間に新たな改定が無いとは言い切れないでしょう。 というより今までを考えると確実にありそうです。 時間がたつにつれだんだんと複雑怪奇になっていくのは、法の運命なのでしょう。 たくさんの改正と経過措置を時系列に把握し、理論的に説明できるのはやはり管内に一人や二人いる古参の担当者になるのでしょう。　こういう疑問や不明な点、以前の状況を確認するにも各市町村の担当者が最近赴任したばかりであったりすると、やはりむずかしく、古参担当者からの情報を何とか得たいと思うのではないでしょうか。 地域の住宅係が集まり、私たちも含めて情報交換するような場を作るようなことが簡単に出来ないのでしょうか？　じつは、このような案内を何回かアプローチしましたが、やはり役所の壁は高く、担当者会議を開くところまでは出来そうですがその場に私たちのような民間業者が出席するのは難しいとの見解が多く、残念ながら道内では実現はしていません。しかし、鹿児島県では、市町村情報センター(県内市町村の電算共同処理機関)が主催して、研究会を開き、その場に出席させていただき、ともに考えることが出来ました。 同様なことを支庁単位で主催・実施でき、各市町村がシステムを導入しているベンダー各社も出席させ、それぞれの対応や見解、また市町村の要求を話し合える機会があれば、あまりあわてることも無いと思うのですが、出来ないものなのでしょうかねー・・。

やむをえず、私たちは、平成21年3月までの期間、弊社ユーザーを含めた様々な地方自治体、公的機関から得た公営住宅改正法の施行に向けた貴重な情報を皆様と共有し、共に考えて、公営住宅管理の現場に生かしていただきたいという想いから、全国の自治体に向け“法改正システム改定情報”をメールで発信しています。
大きなお世話かなと思ってはじめてみましたが、多くの皆様からご意見や、ご質問を頂いていますので、少しはお役に立っているようなのかな、と実感しています。 これを機にいろんな情報を発信してゆきたいと考えていますが、現在は一方的に情報の垂れ流し状態ですので、SNSのような意見の交換が出来る場にしてみようと思ったりしています。 アイディアがございましたら、指定AD. にお寄せください。

私たちは1ベンダーであり、私企業なので本来利益を追求し、全ての行為は営業行為であり対価を求めることが必要ですが、この場に限って下記の建前を通してゆこうと思っています。

“私たちシステムバンクは創業以来25年間一貫して、行政事務の効率化に対し出来る限りの後方支援を実施してまいりました。 しかし、以前に増して行政構造改革・財務体質改善などが叫ばれる中、地方自治体などの公的団体は、住民、企業、政府中央機関との関わり方を徐々に且つ大胆に変えていかなければならないと思います。　私達は、より迅速で質の高いサービスの提供を目的とするこれらの取り組みに対し、あらゆる局面で支援をしていこうと考えています。”

システムバンク株式会社　代表　城 克幸

新しい仲間

名前：三好　将行
出身地：北海道
出身校：北海道情報大学
部署：開発チーム
趣味：フィットネスジム

6年間東京で仕事し、2008年9月にこちらの会社に転職いたしました。気持ちは新人として、仕事は経験者として頑張っていきたい思います。

名前：村上　舞
出身地：北海道
出身校：北海道武蔵女子短期大学（教養学科）
部署：開発部
趣味：スポーツ観戦

社会人としての自覚を持ち、少しでも社会に貢献できる人材となれるよう日々努力していきたいと思っております。失敗を重ねて成長していけるように頑張ります。

名前：中川　あゆみ
出身地：北海道
出身校：北海道武蔵女子短期大学（教養学科）
部署：営業部
趣味：Jamiroquaiを聴くこと

責任感と自信を持って仕事に取り組めるように一生懸命がんばりたいと思います。苦手なことも少しずつ克服できるように努力します。

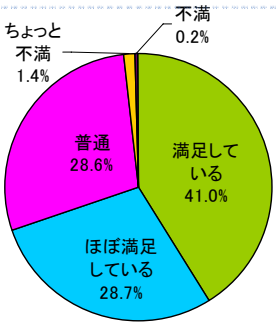
お客様アンケート結果

弊社では自社のパッケージシステムの使用において不満や不便がないか、マニュアルに不備はないか、また社員の対応は満足のいくものか等を顧客アンケートとして定期的に調査を行っております。回収した結果は今後の検討事項とし社内及び各担当部署で話し合いを行い、より良い評価になる事を目標に使用させて頂いております。

営業部門

評価内容

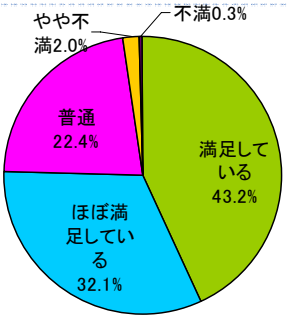
◇電話や訪問時の言葉遣い、礼儀について
◇システム・価格・納期などを明快に説明しているか
◇お客様からの要求事項を正しく理解しているか
◇お客様に対する提案力(知識や動向、技術情報)について
◇進捗管理(進捗状況の把握・報告と遅れへの対応)
◇約束した事項の実行・納期の遵守について



開発部門

評価内容

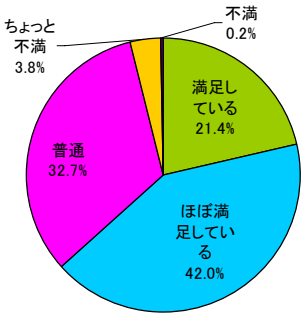
◇電話や訪問時の言葉遣い、礼儀について
◇システムの機能、例外、操作などを明確に説明しているか
◇お客様からの要求事項を正しく理解し、対応しているか
◇当該業務知識・コンピュータに関する知識・信頼の度合
◇お客様に対する情報提供(動向・技術情報)について
◇約束した事項の実行・納期の遵守について



システム/プログラム部門

評価内容

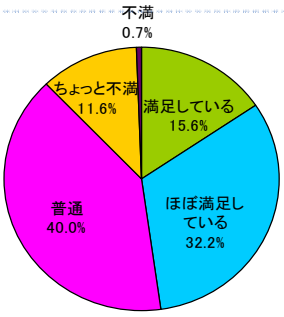
◇機能(お客様が要求している事項への適合度)
◇性能(処理速度・応答速度)
◇精度(処理結果・表示数値等)
◇信頼性(不具合等で停止することがないか)



マニュアル部門

評価内容

◇取扱説明書全体の使いやすさ、わかり易さ
◇取扱説明書でここの処理機能をわかりやすく説明しているか
◇設計資料等のわかり易さ



顧客アンケート調査は今年で無事7年目を迎えることができました。
昨年、目標である80%(ほぼ満足以上)を達成し、本年も同じ目標をたてて活動してきましたが、本年も何とか80%をクリアすることができました。
今後も、目標値を下回らないよう、ユーザー様より頂いたご意見を元に、より良い製品・サポート対応・情報提供に心がけて行きますのでご協力を宜しくお願い致します。

弊社システムラインナップ

弊社にて自社開発をしています、メインの6つのパッケージシステムをご紹介します。住まいるGS、万財-BANZAI、法人-NORITO、水仙-SUISEN、PASSについては自治体様向けのシステムであり、セルヴィスについては病院看護師様向けのシステムとなっています。詳細はWebサイト（http://www.sbn.co.jp）、もしくは弊社営業までメール（eigyo@sbn.co.jp）かお電話でお気軽にご連絡下さい。

公営住宅管理システム「住まいるGS」

平成5年の発売以来、現在全国119の地方公共団体に導入していただいた住まいるシリーズ。おかげさまで数多くのバージョンアップを経て、『住まいるGSuite』（以下「住まいるGS」）が完成いたしました。
「住まいるGS」は住まいるシリーズの中でも合併に対応したバージョンです。システム内に「地区」を持つことで、単体の地方公共団体はもちろん、異なる計算方式の地方公共団体が合併した場合にでも運用が可能になります。

公有財産管理システム「万財-BANZAI」

行政改革の進む昨今、市町村合併に伴う公有財産の管理部署負担の爆発的増加が大変問題になっています。一例として、合併する地方公共団体の各管理台帳を一枚一枚すべて書き直したり書き足したりしなければならない、期中異動分の大幅な増加やその他を反映させる統計資料や調書などすべて作成しなければならない、更にすべてミスなく行わなければならない等といった問題です。
また、合併後は通常の業務でも、管理すべき公有財産の拡大によって、自ずと公有財産の管理部署での負担増が大きな問題になります。そうした業務負担を大幅 に軽減するのが公有財産管理システム「万財-BANZAI」です。

法人住民税システム「法人-NORITO」

地方公共団体において、法人住民税業務は、ほとんどが手作業で集計処理しているのが現状です。本システムでは、各法人または税理士から申告される申告書を入力することにより、その入力データを基にした調定・収納・統計資料作成までの一連の業務をフルサポートしています。
当然、未申告法人の管理、延滞金管理、加算金管理や、歳入・歳出の自動判定などわずらわしい処理を自動化することにより、担当者が情報を柔軟に活用できる仕組みとなっています。このシステムは、基幹業務との連携等を考えずに、単独での稼動が可能なため、システム環境面でも他のシステムとの相性を問わず導入可能なシステムです。

上下水道料金システム「水仙-SUISEN」

上下水道料金システム「水仙-SUISEN」は検針・調定・収納の3つのシステムで構成されているため、各地方公共団体で制定される条例にも柔軟に対応できるシステムになっています。市町村合併対応はもちろんのこと、簡易水道、農業集落排水等の管理も区分をわけることによりスムーズに処理することが可能です。また、弊社公営企業会計システム（PASS）を導入することにより、調定・収納データの連携が可能となります。

公営企業会計システム「PASS」

公営企業会計システムは伺い伝票入力、支出負担金行為の入力、仕訳伝票の入力と事務の流れに沿っての伝票管理が可能です。また、合計残高試算表・総勘定元帳・予算執行状況表等の管理資料において計算ミスや転記ミスがなくなり、すばやく正確な資料作成が可能となります。
システム導入により、事務作業の省力化を図ると同時に、作業の標準化が行われるため、管理資料の体系化が可能です。また、これにより担当者の異動時に伴う業務の引き継ぎがスムーズになります。
過年度のデータ検索が、年度指定のみで簡単に照会できます。これにより、過去の会計事業内容が把握でき高い管理効果が得られます。
・消費税申告書関係資料が作成できます
・予算編成時期における予算要求書および見込合計残高試算表等の資料が作成できます。
・決算統計とのデータ連携ができます。

看護師勤務表作成システム「セルヴィス」

「セルヴィス」は、今まで手作業で時間のかかっていた勤務表の作成を、パソコンで迅速に、しかも正確に行うためのソフトウェアです。スタッフを登録すれば、あとは簡単。勤務条件を設定してボタンをクリックすると、セルヴィスが最適な勤務表を作成します。条件は、資格やチームなどのグループ別の組み合わせのほか、スタッフとスタッフの組み合わせも可能です。「夜勤が続かないように」「ひと月の中で勤務が分散するように」など、これまで頭の中で考えていたことと同じように、勤務の条件をきめ細やかに設定できます。
「セルヴィス」には、弊社が長年培ったアルゴリズムエンジンをさらに進化させた「新遺伝的アルゴリズムエンジン」が搭載されており、この技術により、設定した条件に合致するよりよい勤務表が作成できるようになりました。

編集後記

ついにこの会報誌も6回目となりました。正直なところもちまわりのこの会報誌、いつもネタ探し＆編集に困ります…（苦笑）
この時期はどーにもこーにも出張が多いのです。あまり会社にいないのです。ってなわけでてんてこまいなのです。
がしかし、今年は優しい（？）部長と優秀な（？）な後輩のおかげで、なんとか完成することができました。ありがたやありがたや。
ところでこの後輩、私に声（話し方？）が似ているようで、皆さん気づいていますか？？親しいお客様だと電話口に私が出ると、声で私だと気づきフランクに話してくる方がいらっしゃいます。それはそれで大変嬉しいのですが、最近はこの後輩を私だと間違って話し始めるお客様もいます（笑）。皆さん違いますよー。間違えるような方は罰として会社に遊びに来てください！！実際に会ったら全然違いますからー。皆様、これからも私と後輩と両方の声を聞き分けられるようなヘビーユーザーになってくださいm(_ _)mでは今後ともよろしくお願いしまする(C･K)